

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	保健衛生事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する
④中施策事業の対象	・ 8020・8820表彰：80歳・88歳以上で自分の歯を20本以上保っている市民 ・ フッ素塗布：1歳以上の市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生涯にわたり歯を20本以上保ち、健康の保持増進につとめている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	医師会歯科医師会補助金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
8020・8820表彰の 対象者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	270	270	270	270	270
	実績値	226	238			
単位	人					
・ 歯の衛生週間に 実施するフッ素塗 布人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	400	400	400	400	400
	実績値	0	0			
単位	人					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		1,005千円	1,005千円		
人 件 費	a 事業費合計	1,005千円	1,005千円	1,300千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		1,005千円	1,005千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		15円	15円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B・歯科医師会と協議し実施。フッ素塗布事業に関しては新型コロナウイルス感染症により中止した。式典としての8020・8820運動表彰と、歯科講演会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、令和4年度については中止とした。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生涯にわたり、よい歯と口腔の状態を保つため、若い世代から意識付けを目的に節目歯科検診の個人通知を令和3年度より開始。また、歯と口の健康づくり条例に合わせ、歯科口腔の講演会の開催を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	節目歯科健診の個人通知により受診勧奨を継続している。また、1年を通じて健診を受診できる体制を整えている	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	成人検（健）診事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	1年に1度検（健）診を受診する。結果により、医療機関への受診等、健康に過ごすための行動を起こすことができている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・がん検診 ・歯科健診 ・骨粗鬆症検診 ・特定健診 ・はつらつ健診 ・35-39歳健診 ・成人健診

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
胃がん検診における精密検査受診率 (要精密検査者数÷精密検査受診者数)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	89	90	90	90	90
	実績値	61	80			
単位	%					
各種がん検診延受診人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
	実績値	22,163	22,840			
単位	人					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		144,520千円	138,418千円		
a	事業費合計	144,520千円	138,418千円	155,788千円	
	人件費	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		8,377千円	5,860千円	6,179千円	
③ コスト(①-②)		136,143千円	132,558千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,978円	1,926円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B:精密検査受診率は未受診者への受診勧奨・受診状況の確認や医療機関との連携をはかり実施できている。健診受診率はコロナ前に戻りつつある状況ではあるものの、今後も受診率の向上のための課題分析等が必要である。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	健診受診率の向上のため、個人通知や周知の工夫を実施。特定健診や協会けんぽとの合同実施により市民が受診しやすい工夫を行う。また、女性がん検診では女性医師を多くできるように委託業者の仕様に盛り込んでいく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	効果的な個人通知の工夫、健診周知について他課との連携など引き続き実施していく。また、医療機関や委託業者においても精検受診率向上に向けた協議を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 16日

中施策事業名	休日診療所事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・日・祝祭日、年末年始に豊明市休日診療所を受診した者 ・市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	<ul style="list-style-type: none"> ・適切にかかりつけ医を受診できている ・急病の場合、豊明市診療所を知っており受診できている ・緊急時に受診できる病院を知っており、受診することができる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊明市休日診療所事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
患者人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値	1,008	3,114			
単位	人					
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4	4			
単位	件					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		22,140千円	20,596千円		
人件費	a 事業費合計	22,140千円	20,596千円	23,819千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		11,418千円	36,120千円	22,000千円	
③ コスト(①-②)		10,722千円	-15,524千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		156円	-226円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B: 新型コロナウイルスの感染状況により患者数が増えた場合、医師、職員数を増やし、受診者の診療対応に当たった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き、市民の安全安心な暮らしを維持できるよう、休日診療所の事業運営を行う	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	年末年始、お盆の診療体制や、休日診療所について広報やホームページで周知していく	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	保健センター維持管理	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	各種検診・健康づくり事業の拠点として市民が安心して来所できる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設設備点検・保守

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
施設運営に重大な影響を与えた故障件数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
単位	件	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			10,785千円	8,746千円	
人件費	a 事業費合計		10,785千円	8,746千円	10,938千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			10,785千円	8,746千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			157円	127円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B: 定期的な点検保守により、事業に支障をきたすような故障は発生していない
-----------------------------	---------------------------------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定期的な点検により、軽度な修理段階で異常を発見し、早期対応を実施。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公共施設中期整備プランの元、公共施設管理課と協議しながら長寿命化をはかっていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 16日

中施策事業名	健康づくり事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民自ら健康の増進や疾病予防のために行動し、また地域全体でも取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・とよあけ健康21計画 <li style="width: 50%;">・健康づくり事業(出前講座、教室等) <li style="width: 50%;">・CKD対策 <li style="width: 50%;">・健康マイレージ <li style="width: 50%;">・健康相談 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
とよあけ健康ウォーキング参加人数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	830	830	830	830	830
		実績値	306	458			
単位	人						
大金星マイレージシートまいか交換枚数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	130	150	150	150	150
		実績値	28	70			
単位	枚						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額		予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			1,592千円	545千円	
人件費	a 事業費合計		1,592千円	545千円	1,872千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			1,592千円	545千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			23円	8円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B・感染状況をみながら継続した事業実施を計画、感染対策を講じながら実施。コロナウイルスの感染も3年目を迎え、市民の参加も徐々に戻りつつある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	広報に隔月で「+10運動」について掲載。 特定健診実施後に、健康についての情報提供や、フルル予防教室の実施など、介護や医療と一体的に連携し事業実施をしている。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	広報に隔月で「+10運動」について掲載。 特定健診対象者への予防教室の開催と、健康相談や訪問など個別アプローチを充実させていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	食育推進事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる
③中施策	子どもの健康な育みを支援する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	食に関する正しい知識を持ち、健康的な生活を過ごす
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・おやこ食育教室 ・ヘルシーレシピ

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
3歳児健診の問診 項目「毎日朝ご飯 を食べている」と 回答のあった割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	96	96	96	96	97
	実績値	93.5	46			
単位	%					
ヘルシーレシピ設 置場所	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	8	12	12	12	12
	実績値	11	11			
単位	か所					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			46千円	46千円	
人件費	a 事業費合計		46千円	46千円	46千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			46千円	46千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			1円	1円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B: ヘルシーレシピの設置場所について各課、公共施設と連携し設置場所を増やしたり、市民活動の場やイベント等にて配布をし周知を図った。 おやこ料理教室については、参加者数を減らし縮小して実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	レシピ設置については、引き続き他課との連携しながら民間事業所などと連携しながら実施していく。図書館と一緒に食育月間のPRとして食育のブースを設置する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ヘルシーレシピの設置拡大や、食育教室でのレシピの利用を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等